

一般社団法人 日本医療薬学会  
平成 25 年度第 2 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 25 年 3 月 27 日(水) 13 時 30 分 ～ 15 時

二．開催場所：横浜情報文化センター7階 大会議室

三．出席者

会 頭：安原 真人

副会頭：望月 真弓、奥田 真弘

理 事：青山 隆夫、荒木 博陽、井関 健、大澤 孝、川上 純一、河原 昌美、  
佐々木 均、谷川原 祐介、寺田 智祐、山田 清文、山本 康次郎

監 事：乾 賢一、山田 安彦

年会長：眞野 成康（第 23 回年会）

陪席者

会計顧問：五十嵐 邦彦

事務局：中澤 一純、松本 とみ恵、星 隆弘

欠席者

副会頭：鈴木 洋史

理 事：大森 栄、北田 光一、草井 章、宮崎 長一郎、山本 信夫

四．議長：安原 真人

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 14 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の要領及びその結果

1. 平成 25 年度第 1 回定例理事会の議事録の確認

議長より、本年 2 月 25 日に開催された平成 25 年度第 1 回定例理事会(以下、前回理事会という)議事録案を基に議事内容の確認が行われ、更なる指摘がある場合には本理事会終了時まで指摘するよう要請があった。続いて、資料に基づき、前回理事会開催日から昨日までの会務の状況報告があった。

2. 協議事項

(1) 第 5 回定時社員総会次第及び資料の確認

寺田理事より、本理事会の終了後の 15:15 分より開催する第 5 回定時社員総会について、同総会資料等に基づき、議案、説明者等、事前に把握している代議員の出欠状況、議事録署名人の選任、同総会会場のレイアウト等を含めた進行に係る説明があった。

## (2) 平成 25 年度学術貢献賞・奨励賞等選考委員会委員の選任

議長より、資料に基づき、学術貢献賞、奨励賞及び Postdoctoral Award の選考委員の選任に係る説明があった。同賞らの選考委員については、数年前より公正且つ客観性が得られるような選考を実施するため、毎年若干名の選考委員を交替する形式で選任しており、今年度の選考委員の選任については、大森理事より提案があった 26 名の委員候補者と、各賞の立候補状況を鑑みながら、各委員が担当する選考カテゴリーの決定方針の説明があった。協議した結果、全会一致で承認された。

## (3) 平成 25 年度薬物療法指導薬剤師・同研修施設の認定

山田（清）理事より、資料に基づき、平成 25 年度薬物療法指導薬剤師（過渡的認定）及び薬物療法専門薬剤師研修施設の認定審査結果に係る説明があった。同指導薬剤師には 17 名から申請があり、又同専門薬剤師研修施設には 19 施設（うち 3 施設については、同指導薬剤師の認定をもって同指導薬剤師が在籍となることを見込む）から申請があった。3 月 20 日開催の薬物療法専門薬剤師認定制度委員会において厳正に審議した結果、同指導薬剤師として 9 名を、又同専門薬剤師研修施設として 17 施設を認定すると判定したことが説明された。協議した結果、全会一致で承認された。（認定日：2013. 4. 1、認定期間：2013. 1. 1～2017. 12. 31）

## (4) 非常勤職員就業規則・給与規則

中澤事務局長より、資料に基づき、非常勤職員の就業規則・給与規則に係る説明があった。前回及び前々回理事会において指摘を受け修正した同就業規則に規定している雇用契約の期間や更新に関わる事項について修正し、再度、社会保険労務士の確認を受けたものであることが説明された。協議した結果、全会一致で承認された。

## (5) 英文誌の発行

奥田副会頭より、資料に基づき、英文誌の発行にあたる準備委員会の発足と同委員会委員の編成案について説明があった。はじめに前回理事会に提示した「Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (JPHCS)」を英文誌のタイトルとすること、続いて英文誌発行準備委員会の委員候補者として、奥田担当副会頭、桂 委員長、伊藤晃成、崔吉道、西口工司、山本康次郎、山田清文各委員の 7 名をもって編成すること、また、同準備委員会の主な任務として、編集方針の決定や投稿規定等の整備、編集・投稿システムの構築等を担う旨の説明があった。また、投稿受付・雑誌の発行時期、発行の形態（オンラインジャーナル及び冊子体）及び頻度等に係る意見交換があり、同準備委員会で検討・作業を進めることが確認された。協議した結果、全会一致で承認された。

## (6) 第 26、27 回年会の開催候補地の選定

議長より、第 26、27 回年会の開催候補地の選定に係る検討方針として、近年の年会への参加者数に鑑み、収容人数が大きい会場での開催が望ましく、参加者が希望するセッションを聴講しやすいスケジュールを編成するため、会期 3 日間とすることが望ましい。第 25 回年会は会期を 3 日間として開催する予定であり、それ以降の年会の会期を 2 日間に戻すことは難しくなると考えられるため、年会の開催候補地は、多くの収容人数を有する施設がある都市で且つ平成 28、29 年の 9 月から 11 月までの 3 連休に確保できる会場及び都市となることが説明された。具体的な候補地の選定にあたり、会場及び都市、日程を事務局長が調査し、次回の理事会に報告した上で、再審議することとなった。また、別の案として、会場を固定す

ることで予約・確保をした上で、年会長を交替して年会を開催する方法もあるという意見もあった。その場合には、年会長の選出・決定に関するルールが必要になるため、その検討の必要性もあるという意見もあった。

#### (7) 「診療行為に関連した調査分析モデル事業」統括責任者等の推薦

議長より、日本医療薬学会安全調査機構が実施している診療行為に関連した調査分析モデル事業に対して本学会では薬剤師の代表として従前より協力してきたところであるが、同事業の全国展開を図るために、新たに本学会の代表となる統括責任者及び中央審査委員（共に兼務可）等の推薦依頼があった。協議した結果、本学会の総括責任者及び中央審査委員として安原会頭を推薦することとした。また、地域（ブロック）毎の窓口担当者及び評価委員については、再任のお願いをすると共に、窓口担当者に交替が生じた九州ブロックについては、調整役をおいて人選することとなった。

#### (8) 後援依頼

議長より、資料に基づき、一般社団法人日本医療薬学会癌治療学会より本学会に後援依頼があった「第7回日本癌治療学会アップデートコース教育コース」に係る説明があった。前回の第6回目の同教育コースについても後援を承諾していることより、本件については既に承諾済であることが報告された。

#### (9) その他

議長より、資料に基づき、日本アソシエーツ株式会社より、同社が刊行する「最新科学賞事典 2008-2012」に掲載する情報提供の依頼があった。本学会で表彰している学術貢献賞について、同賞の設立主旨や選考基準、受賞者等の情報提供及び同誌への掲載の許諾に係る依頼の説明があったため、協議した結果、了承することとした。なお、具体的な提供情報については、大森理事（学術貢献賞・症例賞等選考委員会委員長）に確認しながら取りまとめて提供することとなった。また、奥田副会頭より、本学会のパンフレットについては、前回作成したものをベースに軽微な変更を加え、速やかに印刷・配布する予定であることの説明があった。

### 3. 報告事項

#### (1) 第23回年会準備状況報告

眞野第23回年会長より、本年9月21・22日の両日に仙台市で開催する同年会の準備状況の報告があった。公募シンポジウムとして42セッションを採択したこと、また、協賛として、セミナー、要旨集の広告、展示への応募状況と、製薬団体及び自治体からの寄付についての報告があった。なお、一般演題の登録及び事前参加登録の各受付を、3月28日から開始することが合わせて報告された。

#### (2) 2013年度がん薬物療法海外研修

谷川原理事より、2013年度JSPHCS海外研修プログラム派遣研修員の選考結果に関する説明として、今年度の募集に5名より応募があり、がん専門薬剤師認定制度委員会において審議した結果、4名を選考したこと、また一部の選考者に対する付帯条件として、英語力の強化を図ること等を申し伝えたことが説明された。続いて、議長より、本研修の団長についての相談があり、協議した結果、議長預かりとなった。

(3) 各委員会報告

1) 薬物療法専門薬剤師研修委員会

河原理事より、3月5日に開催された第1回目の委員会議事録を基に、薬物療法専門薬剤師領域の講習会の開催（集中講義）・認定、受講の必須化などに関する検討と、研修ガイドラインの策定に関する分担等に関する協議を行ったことが報告された。

2) 薬物療法専門薬剤師認定制度委員会

山田理事より、協議事項(3)で説明した薬物療法指導薬剤師及び同専門薬剤師研修施設の認定審査のほか、来月より薬物療法専門薬剤師の認定申請を受付けること及び認定薬剤師試験と共用の薬物療法専門薬剤師認定試験を、本年7月28日(日)に実施することが報告された。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は15時00分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会頭 印

監事 印

監事 印